

令和8年度 つくばサイエンス・アカデミー事業計画（案）

1 事業方針

研究者相互の交流と知の触発による先駆的新産業領域の創造、研究成果の産業化、科学の啓発などを目的として、研究開発奨励、研究交流促進、研究産業交流などの事業を実施し、もって科学の振興に寄与する。

2 研究開発奨励事業

○「江崎玲於奈賞」「つくば賞」等の顕彰事業

国内又は県内に於いて世界的に評価を受ける顕著な研究成果を取めた研究者に「江崎玲於奈賞」「つくば賞」「つくば奨励賞」の各賞を授与するとともに、授賞式及び受賞者講演会を実施する。

授賞者の決定 令和8年9月～10月(予定)

授賞式及び記念講演会 令和9年1月～2月(予定) つくば国際会議場

3 研究交流促進事業

○SATフォーラム

会員やその家族、一般の参加も広く呼びかけ、最先端の研究や話題の研究を行っている研究者、著名な研究者を招いてフォーラムを開催する。

日 程：令和8年6月29日(月)

場 所：つくば国際会議場 Leo Esaki メインホール

講 師：京都大学 理事・副学長／高等研究院アイセムス特別教授

北川 進 先生（2025年ノーベル化学賞受賞）

演 題：「無用の用」がひらいた MOF の化学-気体分子が躍動する未知の世界へ-

参加費：1,000円(会員とその家族、学生は無料)

○SATつくばスタイル交流会

広く会員以外の方にも参加を募り、サイエンス&アートをテーマに、講演会と音楽鑑賞会などを組み合わせた交流会を開催し、SATの周知と市民との交流を促進する。

日 程：令和8年11月23日(月・祝)

場 所：つくば国際会議場 中ホール 200

講 師：国立研究開発法人物質・材料研究機構 フェロー

高田 和典 先生（2025年度つくば賞受賞）

アートの部：未定

参加費：500円(会員とその家族、学生は無料)

○研究・技術・産業交流事業

つくばの研究者や企業等が分野や立場を越えて交流し、新しい発想や連携を生み出すことを目的に、研究者による研究動向報告や賛助会員による技術や事業の紹介、および意見交換を行う小規模な交流会を開催し、それぞれのニーズとシーズを共有しながら新たな「知の触発」につなげる。

○サイエンス・シニアサロン in Tsukuba

退職したシニア研究者・技術者あるいはサイエンスに関心のある方々を対象にしたサロンを開催し、講師が様々な研究分野の話題について、自由な討論を通じて参加者の知的触発や人的交流を図る。

○つくば科学・技術産業イニシアティブの共催

「つくば科学・技術産業イニシアティブ」を科学・技術産業イニシアティブとの共催により隔月（年6回程度）で開催し、異分野交流の強化に務める。

4 研究産業交流事業

○テクノロジー・ショーケース

つくばの各研究機関等と連携して、様々な分野の研究者による研究発表を通じて研究者と企業との交流を深め、知の触発による研究内容の向上、研究成果の実用化、ビジネス化を促進する。

日 程：令和9年1月21日（木）（予定）

会 場：つくば国際会議場

協力機関：農業・食品産業技術総合研究機構

プログラム（例）

- ・インデクシング、ポスター発表
- ・特別講演
- ・企画展示、共催機関広報展示、先進技術企業展 等

5 会員の加入促進について

魅力のある事業を展開することにより会員の加入促進に努める。

6 広報活動

- ・会誌の発行(年2回)・賛助会員の紹介
- ・ホームページの運営 (<https://www.science-academy.jp/>)

7 運営会議、総会

令和8年7月 第1回運営会議、総会

令和8年度 つくばサイエンス・アカデミー収支予算(案)

(単位：千円)

項 目	R 8 当初(a)	R 7 当初(b)	増減額(a-b)
事業活動収入			
補助金等(茨城県から)	5,944	6,376	△ 432
負担金(テクノロジー・ショーケース)	2,560	2,830	△ 270
会費	3,659	4,394	△ 735
賛助会員	2,850	3,500	△ 650
個人会員	809	894	△ 85
雑収入(参加費等)	265	195	70
参加費等	265	195	70
受取利息	0	0	0
他会計からの繰入金	5,966	5,698	268
当 期 収 入 合 計	18,394	19,493	△ 1,099
事業活動支出			
研究・交流促進事業	12,855	14,204	△ 1,349
給料、賃金	8,815	10,386	△ 1,571
福利厚生費	36	50	△ 14
諸謝金	860	770	90
旅費	154	150	4
印刷製本費	70	70	0
消耗品費	80	80	0
会議費	1,670	1,520	150
通信運搬費	350	350	0
委託料	70	70	0
手数料	0	30	△ 30
広告宣伝費	592	580	12
負担金	88	88	0
雑支出	70	60	10
テクノロジー・ショーケース運営事業	5,539	5,289	250
旅費	20	20	0
消耗品	30	30	0
会議費	2,665	2,515	150
通信運搬費	110	110	0
委託費	2,400	2,300	100
広告宣伝費	310	310	0
租税公課	1	1	0
雑支出	3	3	0
当 期 支 出 合 計	18,394	19,493	△ 1,099
当 期 収 支 差 額	0	0	0

※主な増減について

収入：会費及び事業負担金の減少見込みにより、他会計からの繰入金を増額

支出：会議室利事業の増による会議費(施設利用料)の増。

人件費及び物件費高騰に伴うショーケース運営事業委託料の増